



# ちよこっと寄り道



今回の「ちよこっと寄り道」は**特大号**です！  
当クリニックのこと、患者さんのこと、装置を作っているメーカーさんのこと、皆さんにもっともっと知っていただきたい！  
是非、最後までご覧下さい！



## 山本院長に聞いてください



長津田矯正歯科クリニックってどんなところかな  
…実は知らないクリニックのこと、山本院長に聞いてみました。

——どういった気持ちで矯正クリニックを開業しようと思ったのですか？開業理念を教えてください。

矯正治療の垣根を低くし、治療の選択肢を増やして、少しでも多くの方に歯並びがきれいになる喜びを味わってもらいたいと思って開業しました。私自身兄弟が多くて、何においてもお金がかかってしまうので、子供のころは多々我慢しなければいけないこと、諦めないといけないことがありました。

兄弟、姉妹、親子で矯正治療をすることを諦めて

しまうことが少しでも無くなるように、開業時に工夫をしました。

——実際のどのような工夫をされたのですか？

矯正基本料金を抑えらるるよう、直接治療に関連しない経費に関しては可能な限り軽減しています。また、治療段階によって治療費をお支払していただけるように、矯正治療料金設定の工夫をしています。

患者さんの考えるゴール、矯正治療で優先するところを把握するように努力しています。歯並びによって、患者さんの気になる部分のみ矯正治療を行い、期間の短縮が可能になる場合もあります。

——クリニックの特徴を教えてください。

毎回治療終了時に患者さんへのアレンジはもちろんなこと、コミュニケーションを取るように心がけています。

基本的には、歯科医師によって最初から最後まで治療を行うというスタイルをとっています。

矯正材料・器具・矯正装置も学会等で常に新しく出たものを確認し、その時々で一番適しているものを使用するようになっています。

——一般的に、矯正治療の料金についてどのくらいの価格帯なのですか？

この近辺の矯正専門医では平均すると、お子様の基本料金が30万〜50万円、大人の方で60万〜85万円くらいですね。

これはあくまでも平均ですので、すべての矯正専門医がそうとは限りませんが、一般的に基本料金と通院時の処置料の組み合わせの医院が多いです。

最近は歯科医院とは思えないような内装の所もありますが、当クリニックでは良い矯正装置を患者さんに使っていたらいいので、矯正材料・器具・矯正装置に重きを置いています。そして、医師の技術向上の為に定期的に研修を行っています。

——矯正治療をするにあたってどういった心構えが必要ですか？

矯正治療は、ただ矯正器具・装置をつければ歯並びが治るといふ訳ではありません。患者さんご本人の努力が大きく関わってきます。

例えば、装置を決められた時間しっかりと使用する、歯みがきをきちんと行う、治療のお約束の日をなるべくキャンセルせずに通院される等・・・患者さん自身がいかに頑張るかによって治療の完成度が変わってきます。

特に、通院期間は歯の動きによって歯科医師が決めていますので、キャンセルされるとその分矯正期間が延びます。

私達歯科医師は、患者さんがきれいな歯並びを希望するためのサポートをする役目なんです。

(裏面へ続く)



——院長自身が毎日行っていることは何ですか？

一人でゆっくり考える時間を持つようになっています。細かい仕事が多く交感神経が緊張するため、副交感神経が優位になるトレーニングを取り入れて仕事に集中できるようにしています。晩酌もかかさずしています(笑)。



——最後に院長の座右の銘を教えてください。

『約束を守る』『中庸』です。

出来ない約束はしない。バランスを考えて行動するというのがですね！

院長は、このクリニックを開業した当時、1日3組限定の宿のようなイメージにしたいと心に決めていました。

現在もその心持ちは変わりません。

患者さんの来院数は1日3組ではありませんが、患者さんへの治療の取り組みやコミュニケーション等は医師、スタッフ一同、開業当時の気持ち以上の熱意を持っております。

日々勉強し、今日よりも明日、明日よりも明後日というように進化し続けるよう、患者さんが「長津田矯正歯科クリニックに通院してよかった！」と思ってくださるような環境作りを大事にしていきたいと思います。

2012年1月で当クリニックも8年目を迎えます。今後もよろしく願いいたします。



## 患者さんへのインタビュー

動的治療を終え、マルチブラケット装置を外して、綺麗になった歯並びを保つための治療を行っている濱道晴子さんにお話を伺いました！

——矯正治療を始めたきっかけは何ですか？

二十歳頃から写真を撮ったときに横顔を見ると、歯が出ていたので気になっていました。

結婚して子供の歯並びが気になり、自分自身も気になっていたこともあって、一緒に矯正をすれば矯正治療の痛みや困難なことを共有できると思って開始することにしました。



——矯正治療中、困ったことはありませんか？

食べ物が歯に挟まったり、矯正が当たって痛かったり、口内炎も出来たりで大変でした……。

——逆に矯正治療中に楽しいエピソードはありましたか？

ママ友達の間で矯正のことが話題になって、「どこでやっているの?」って聞かれることもありました。矯正仲間が出来ましたね♪

——動的治療を終えて、マルチブラケット装置を外してどんなお気持ちですか？

スッキリしましたー!!  
噛み合わせが良くなって、両方の歯で食べ物が噛める様になりました。

——歯並びが綺麗になって、最初にしたかったことって何ですか？

大口を開けて笑ったり、食事を楽しみたいです。いつも治療にいらっしやるときに素敵なピースのアクセサリーをつけていらっしやる濱道さん。なんと！それはご自身で手作りされたものでした！お友達に作り方を教えていらっしやるそうです。そのお話もお伺いしました。

——作り始めたきっかけは何ですか？

お友達の誘いで始めたんですよ。もう5年くらい続けています。



——お教室は定期的開催されているのですか？

基本は知り合いの方を中心に、自宅や知り合いの方々の家でワイワイしながら作製しています。

作製時間は大体簡単な物なら2時間くらいで出来ます。作る物によっては2日に分けて計5時間かかることもあるんです。1つめは基本的な物を作って、その次に応用して別の物を作りま

す。  
(2枚目へ続く)



濱道さんの作品を何点が拝見させていただきました。バッグ型のは、小さくてもちゃんとバッグになっていて、中に物が入るようになってるんですよ！「自分の守護石を入れてもいいですね。」と濱道さん。



もう、取材スタッフ間で見てビックリです！あまりの可愛さに思わず歓声が上がっております。12月にはクリスマスツリーの形のものも作



☆

明るい笑顔で取材にご協力いただいた濱道さん。本当にありがとうございました。



## 矯正装置って どうやって作られているの？



その疑問を解決すべく、アソインターナショナル本社へ行ってきました！

アソインターナショナル社は、国内のみならず、ハワイ、上海などの海外拠点でも営業されている日本最大の歯科矯正専門技工所です。当院ではマウスピース型の矯正装置「アソアライナー」を作っていたいただいております。

アソアライナーは透明で、つけたときにほとんど目立ちません。食事をするときや、歯を磨く時に簡単に取外すことができます。矯正装置は目立つから・・・と敬遠されている方にオススメの装置です。(注:歯並びの状態によって使用できない方もいらっしゃいます。)



まず、患者さんの歯型をとります。その歯型を担当医が診断して、指示書にどの歯をどう動かすか細かく記入します。その指示書を歯型模型と一緒にアソインターナショナルへ郵送します。

左の写真を見てください！たくさんさんの歯科クリニックからアソインターナショナル社へ着いた歯型模型、山積みです！この中に1個〜10個ほど入っているのだそうです。

多い時は1日300箱くらい送られてくることも。1箱平均5個で計算しても・・・すごい量ですね！



アソインターナショナル社では、国内では、9支店、29ヶ所の営業所にいる技工士さんが矯正装置を作っています。梱包を解かれた歯型は、各営業所、各部署宛に分類され、送付されます。

矯正装置を作る技工士さんは全員本社で研修を受けておられます。同じ人から指導されることで、どの支店、営業所で矯正装置が作られても作りむらが出来ないようにしているそうです。

アソインターナショナル社では、マウスピース型のアソアライナーのほかにも、色々な矯正装置を作っています。睡眠時無呼吸症候群の方のための舌を固定するマウスピース等も作っているんです。矯正装置のプロフェッショナルですね！

そしてこちらが、アソアライナーを作っている部署です。本社では再製や急ぎの物を作っています。皆さん、矯正装置ってどんな風に作られるか思っていましたか？

ベルトコンベアで流れて、機械で・・・ではなく、なんと**1つ1つが全て技工士さんの手作り！**1つの矯正装置を1人〜3人で作るのだそうです。

まず歯型模型の写真をコンピューターに取り込みます。

その後、担当医から送られてきた指示書に従って模型の歯を1つ1つ分割！物凄く細かい作業です。失敗の許されない中、さすが技工士さんはプロです。ズバツとカットしていらっしゃいます。

アソアライナー1回の矯正で動く量は1ミリ。バラバラになった



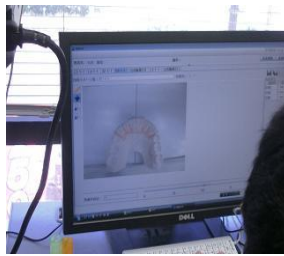
(裏面へ続く)

模型を削ってくっつけて、その1ミリ動く状態の模型へ作りなおします。文章で書くと簡単そうですが、歯一本一本の大きさを想像してみてください……本当に細かくて、神経を使う作業ですよ。



その後、再度写真をコンピューターへ取り込み、元の歯型模型と比較して、きちんと作られているか確認します。

そして一旦クリニックへ送り返されてきます。本当にその状態で矯正装置を作っているのか、担当医がチェックをする為です。担当医のチェックが終わると、またアソインターナショナルへ送ります。



そして、★印の写真の機械に歯型模型を乗せ、透明の薄い板を圧接してアソライナーの原型が出来上がります。技工士さんが、余分な部分をカットし、

口に入れたときに痛くないよう、丁寧にヤスリをかけて出来上がりです。す〜す〜とく手間がかかっていますよ！



★ 技工士の杉山さんに「患者さんに伝えたいことはありますか?」とお尋ねしたところ、

『時間を守って使ってください。1日17時間はつけていただくよう頑張ってください。模型が送られてくる度、患者さんの歯並びが治ってくるのが確認できて、やる気ができます。患者さんが喜んでくれることがうれしいです。』とおっしゃっていました。

技工士さんが一つ一つ丁寧に作ってくださいっている矯正装置、大切に使ってくださいね。

### まめ情報

アソライナーは、下記写真の青丸、アソライナーが切れ込んでいる部分に指をひっかけて左右から少しずつ外してください。

前歯の辺りを持って外したり、片側から力任せに外すと、破損や歪みの原因になってしまいます。



## 2011年 クリニック活動報告

- 1月 事務スタッフ入社
- 2月 バレンタイン企画
- 3月 院内新聞春号発行
- 4月 鈴木先生入社
- 5月 院長 横浜翠陵中学、高等学校歯科医着任  
ホームページに『お約束7か条』 『痛みについて』追加
- 6月 ドクター治療技術向上合宿  
スタッフ 電話対応セミナー参加  
佐貫先生 成人矯正歯科学会参加  
晶子先生 神奈川歯科大学矯正科で講演  
スタッフ アロマセラピー講習会参加  
虫歯予防フェア開催
- 7月 院内新聞夏号発行  
院長、晶子先生 東京矯正歯科学会参加  
院長 コーティング研修開始(2012年3月迄)
- 8月 ドクター治療技術向上合宿  
院長 晶子先生 最新矯正歯科治療意見交換懇談会参加
- 9月 院内研修 外部コーチによる院内での合同実地研修  
院内新聞秋号発行
- 10月 院長、晶子先生、鈴木先生 日本矯正歯科学会参加
- 11月 院長 リーダーシップ世界大会参加  
クリニック内装変更 診察台2台から3台へ増設  
新スタッフ入社  
ドクター治療技術向上合宿



上) 社内を案内して下さった営業部 曾我さん、技工士 杉山さん。  
下) 今回の取材を快く受けて下さった 阿曾社長、曾我さん、当院スタッフ 前田、高橋。

